

人民元週間レポート

2025年11月7日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO 瑞穂银行

【人民元為替概況】

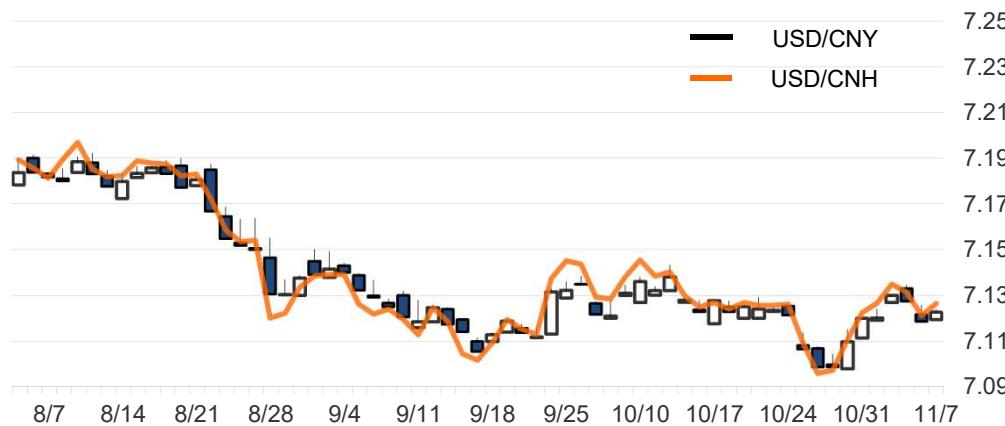
回顧: USDCNYは7.13台まで上昇後、上値重く推移

- ドル人民元(USDCNY)は3日、7.11台後半でオープン。日中は上値重く推移し7.11台前半まで下落、夕方になると独金利低下によるユーロ安ドル高を横目にUSDCNYも7.12を上回る展開。夜間には複数のFedメンバーが12月利下げを巡り慎重な姿勢を示したこともドルを下支え、4日も底堅く推移。5日の寄り付き直後に7.13台半ばまで上昇後は週後半にかけて反落。米国株式市場の株価割高感が意識され世界的に調整が進む中、株安を受けたリスクオフの流れからドル売りが進み、6日夜間には一時7.11台後半まで下落。7日、貿易統計が予想・前回を大きく下回る結果となったことで元安が進み、正午時点、USDCNYは7.12台前半で取引されている。
- 円人民元(JPYCNY)は3日、4.62レベルでオープン。USDJPYが4日に154円台半ばまで上昇したものの、円安けん制発言に対する警戒感や6日の米雇用指標の悪化が意識され、一時153円を下回る水準まで下落。JPYCNYは方向感に欠ける値動きとなったものの、USDJPYに連動して週初につけた4.61台前半から週末7日正午にかけて4.65台前半まで上昇して推移している。

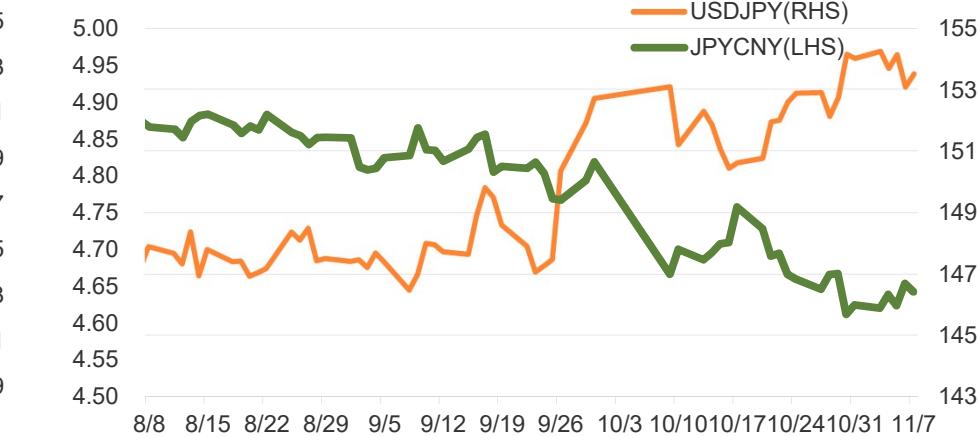
見通し: 米国株式の値動きや中米経済指標に注目

- 米国では、株式市場が下落トレンドに転じるか、市場の調整局面が終了するかに注目したい。米政府機関閉鎖日数が史上最長を更新しているものの、閉鎖終了に向けた動きがみられれば、米株価の下支え要因となり、再びドル高へ推移すると考える。また、13日には米CPIの公表が控えており、結果を受けた為替市場の値動きには警戒したい。
- 他方、中国サイドでは、7日に発表された貿易統計は輸出が前年比▲1.1%と8か月ぶりのマイナスに転じた。中国国内経済の減速が懸念されることとなれば人民元の下押し圧力となりうることから、9日の物価統計、14日の国内主要経済指標(小売売上高等)の指標内容には注目したい。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



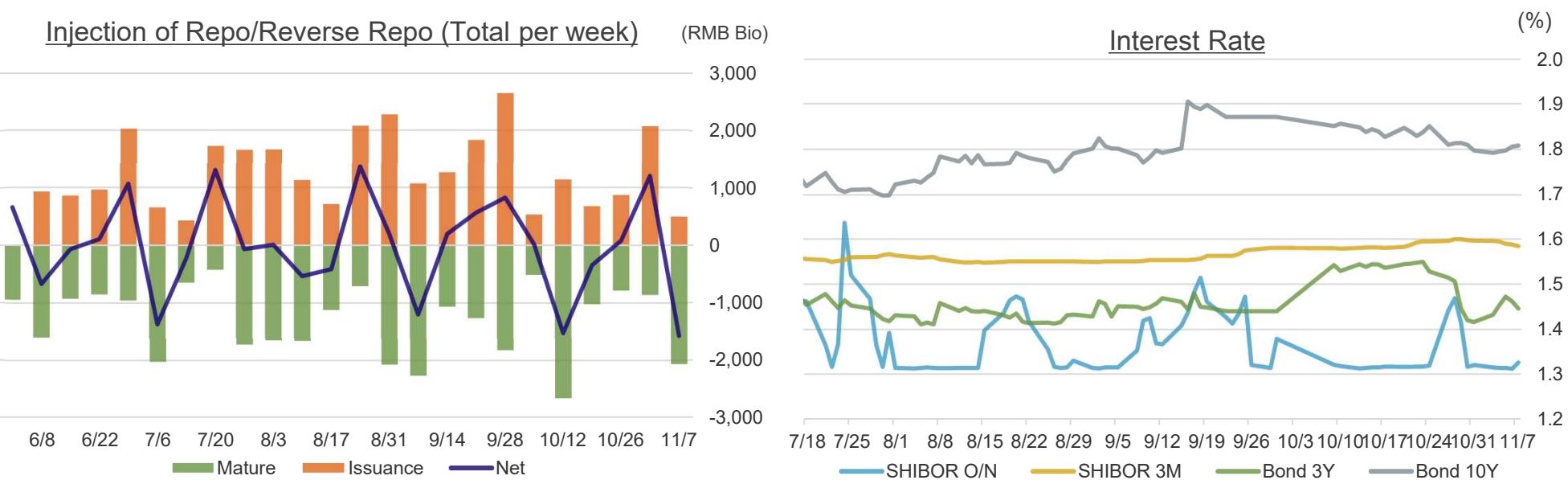
【人民元金利概況】

回顧: 債券市場は利回り下げ止まりも、月初に入り金利は低位安定推移

- PBOCは7日物リバースレポにより合計4,958億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで1兆5,722億元の資金吸収となった。また5日、PBOCはアウトライターリバースレポによる3ヶ月7,000億元(今月満期到来分と同額)の資金供給オペを実施。
- 資金市場について、月初に入りPBOCによるオペレーションがネット資金吸収となったものの、資金流動性が潤沢な中、金利は低位安定推移。
- 債券市場について、先週はPBOCによる債券売買オペ再開が報じられたことを受け利回りは大幅に低下していたが、今週に入り下げ止まり。

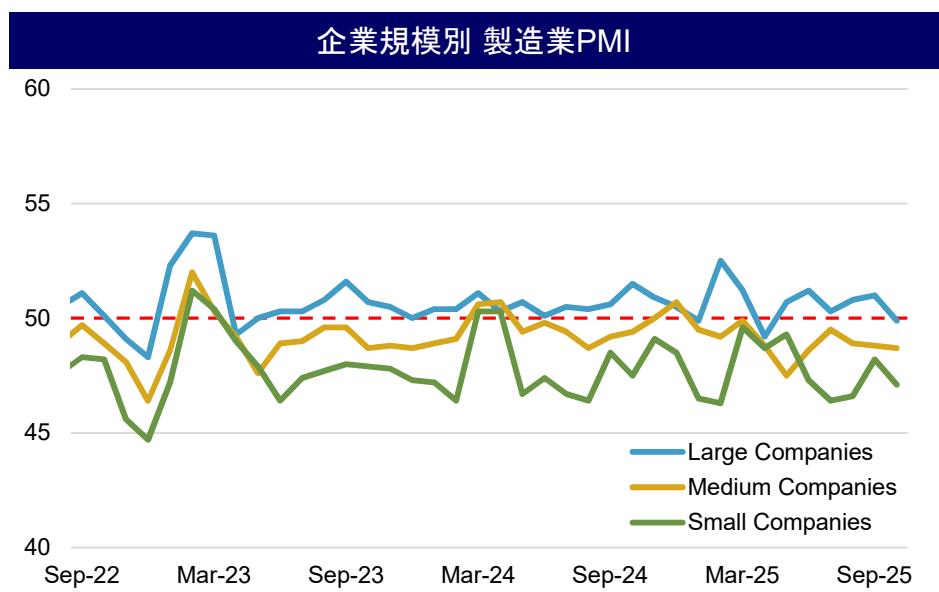
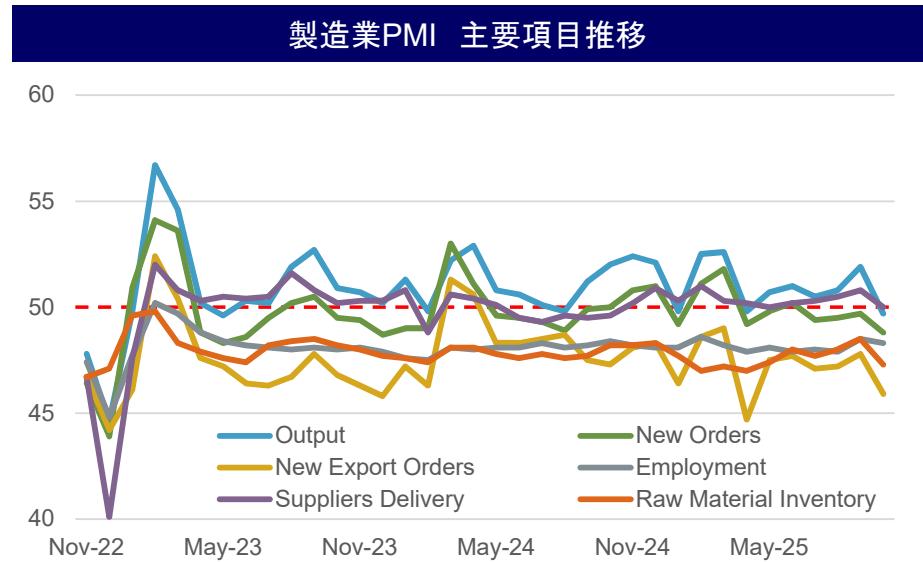
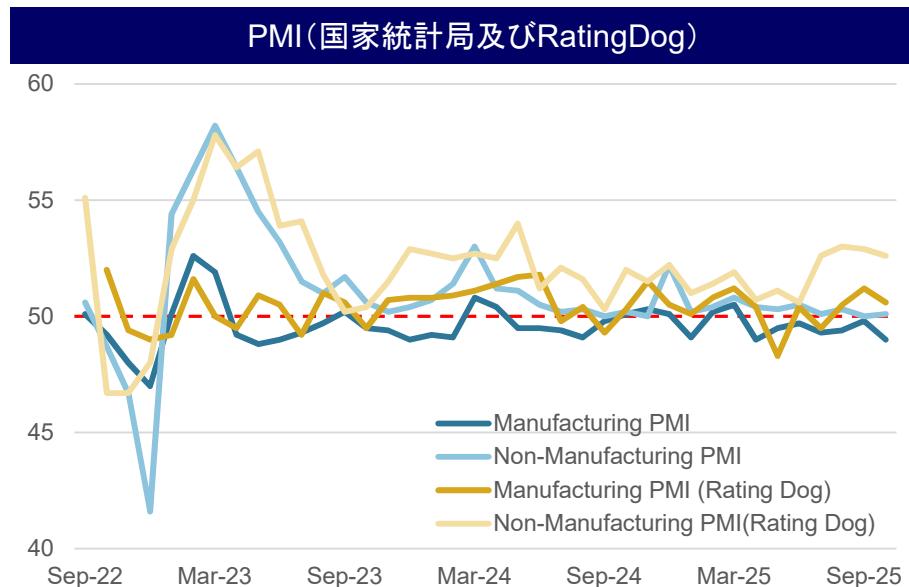
見通し: 各種経済指標の発表に注目

- 4日、PBOCは10月に市場で国債取引を再開し、200億元の買入を行ったことを公表した。金額規模自体は大きくなかったことから、債券利回り低下の流れは一服したもの、今後もオペレーションの動向には注目したい。
- 来週は物価統計(9日)、小売売上高等の国内主要経済指標(14日)、金融統計(日程未定)の発表が予定されている。引き続き産業発展や内需拡大を重視する方針が示されている中、経済統計公表等を受けて新たな財政・金融政策に対する期待が高まる展開には留意しておきたい。



【TOPICS】中国 10月PMIが公表

- 10月31日、中国国家統計局は10月PMIを発表。製造業PMIは49.0(予想:49.6、前回:49.8)、非製造業PMIは50.1(予想:50.1、前回:50.0)となった。また、11月3日、民間指標であるRatingDog(旧財新)製造業PMIは50.6(予想:50.7、前回:51.2)、5日、RatingDogサービス業PMIは52.6(予想:52.5、前回:52.9)と公表された。
- 国家統計局製造業PMIについては国慶節連休が前年よりも1日長かったことが下押し要因となっている可能性も指摘されているものの、7か月連続で景気拡大・縮小の節目となる50を下回った。項目別で生産指数や新規受注指数等、大半の主要指標が前回対比悪化。また、企業規模別でいずれも前回対比悪化し、大企業は50を下回った。
- 国家統計局は「製造業企業の生産と市場需要の双方が減少した」とのコメントを発表。景況感悪化の一方で、10月30日の中米首脳会談における各種合意が今後の押し上げ要因となり得るかには注目したい。



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
11/3	7.1191	7.1241	7.1135	7.1225	7.0867
11/4	7.1269	7.1304	7.1218	7.1233	7.0885
11/5	7.1330	7.1344	7.1242	7.1246	7.0901
11/6	7.1218	7.1257	7.1175	7.1219	7.0865
11/7	7.1195	7.1238	7.1190	7.1225	7.0836

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
11/3	7.1196	7.1291	7.1144	7.1266	7.1188
11/4	7.1266	7.1360	7.1242	7.1349	7.1275
11/5	7.1349	7.1383	7.1287	7.1313	7.1318
11/6	7.1312	7.1325	7.1204	7.1213	7.1279
11/7	7.1213	7.1274	7.1212	7.1265	7.1258

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	7.1191	7.1344	7.1135	7.1225
100JPY/CNY	4.6198	4.6610	4.6132	4.6419
EUR/CNY	8.2062	8.2199	8.1798	8.2148
HKD/CNY	0.91590	0.91734	0.91525	0.91580
GBP/CNY	9.3508	9.3551	9.2790	9.3342

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	154.00	154.48	152.82	153.06
EUR/USD	1.1539	1.1552	1.1469	1.1547
EUR/JPY	177.74	177.98	175.71	176.75
GBP/USD	1.3128	1.3162	1.3010	1.3137
AUD/USD	0.6547	0.6562	0.6459	0.6480

【SHIBOR FIXING(%)】

	11/3	LOW	HIGH	11/7
ON	1.3160	1.3130	~	1.3270
1M	1.5460	1.5260	~	1.5460
3M	1.5950	1.5840	~	1.5950
6M	1.6330	1.6200	~	1.6330
1Y	1.6640	1.6500	~	1.6640

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- ・当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ・ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- ・投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。
- ・また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- ・本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではございません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)



瑞穂银行